

令和8年7月31日
農政部 農政課 調整・DX推進係
電話：027-226-3017
内線：3017

県内各地の農業農村の動き（令和8年8月）

●農産物の生産動向

項 目	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
お盆に向けたコギクの出荷	8月	渋川市旧北橋村ほか	渋川市では、露地コギクの栽培が盛んです。約40名ほどの生産者が、お盆の需要に向けて作業を行っており、県育成品種の「小夏の月（黄色）」「小夏の風（白色）」「小夏の恋（赤色）」を中心に、様々な品種が出荷となります。	中部農業事務所 担い手・園芸課 電話027-233-9255 JA赤城たちばな 農畜産課 電話0279-52-2116
ブロッコリーの育苗・定植盛ん	8月	前橋市	前橋市では富士見地区や南橋地区等を中心に、秋冬ブロッコリーの栽培が盛んです。市内300戸ほどの生産者が、ほ場等で育苗を行い、8月上旬～9月中旬に定植します。	中部農業事務所 担い手・園芸課 電話027-233-9255
ナシの収穫始まる	8月上旬～	前橋市	前橋市では木瀬地区を中心に、ナシ栽培が盛んで、8月上旬からナシの直売所がオープンします。品種は「幸水」から始まり「豊水」「あきづき」へと続き、毎年消費者からは「みずみずしく、美味しい」と高評価を得ています。	中部農業事務所 担い手・園芸課 電話027-233-9255
ブドウの収穫始まる	8月上旬～	榛東村 吉岡町	榛東村、吉岡町は県内有数のブドウ産地で、8月に入ると観光ブドウ園がオープンします。甘みの強い「デラウェア」から始まり、「藤稔」「巨峰」「ピオーネ」や「シャインマスカット」「クイーンニーナ」など、観光園ならではの多くの人気品種が楽しめます。	中部農業事務所 担い手・園芸課 電話027-233-9255
秋ソバ播種作業最盛期	8月中旬～9月下旬	渋川市	県内一のソバ産地である渋川市では、赤城山麓、榛名山麓で秋ソバの播種作業が最盛期となります。8月中旬から9月下旬にかけて、150ヘクタールを超える播種作業が行われ、10月上旬にはソバの花が見頃を迎えます。	中部農業事務所 渋川地域農業課 電話0279-23-1321
露地ナスの出荷最盛期	8月	伊勢崎市 玉村町	佐波伊勢崎地区の露地ナスは県内でも有数の産地です。V字仕立て等で管理され、品質の高い品物が出荷されています。露地ナスの出荷は8月に最盛期を迎え、11月上旬まで続きます。新規に取り組む生産者も増加しています。	中部農業事務所 伊勢崎地域農業課 電話0270-25-1252
ブロッコリーの播種始まる	8月上旬～	伊勢崎市 玉村町	JA佐波伊勢崎管内ではブロッコリーを重点品目としています。8月上旬から播種作業が始まり9月に定植、10月下旬から2月にかけて収穫されます。	中部農業事務所 伊勢崎地域農業課 電話0270-25-1252
シュンギクの播種始まる	8月上旬～	伊勢崎市 玉村町	JA佐波伊勢崎管内では、あかぼり、たまむら地区を中心にシュンギクの栽培が盛んです。8～9月に播種し、9月中旬から3月頃まで出荷されます。	中部農業事務所 伊勢崎地域農業課 電話0270-25-1252
抑制キュウリ出荷始まる	8月下旬～	伊勢崎市 玉村町	JA佐波伊勢崎管内では抑制作型キュウリの栽培が盛んです。8月下旬から出荷が始まり、11月まで出荷されます。	中部農業事務所 伊勢崎地域農業課 電話0270-25-1252

項 目	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
オクラ出荷最盛期	7月上旬～9月	藤岡市 高崎市吉井町	J Aたのふじ管内では高齢者や女性を中心にオクラ生産が盛んで、8月に出荷最盛期となります。	J Aたのふじ園芸課 ＜藤岡＞ 電話0274-24-1194 ＜吉井＞ 電話027-387-4979
もぎたて果実の直売	7～10月	高崎市	7月上旬から10月下旬まで、高崎市特産のくだものの直売が始まります。スモモ、モモ、ネクタリン、ナシなど様々な品目を長い期間楽しむことができます。 スモモ 7月上旬～9月上旬 モモ 7月中旬～8月下旬 ネクタリン 8月中旬～9月中旬 ナシ 8月中旬～10月下旬	J Aはぐくみ 西部営農センター 電話027-374-0256 J Aたかさき営農部 電話027-352-5288
抑制キュウリ定植始まる	8月上旬～下旬	高崎市吉井町	吉井町片山地区では施設キュウリの栽培が盛んです。抑制栽培のキュウリはお盆前後に定植が行われ、9月から収穫が始まります。	J Aたのふじ園芸課 吉井野菜センター 電話027-387-4979
甘楽富岡でオクラが出荷最盛期	8月上旬～8月下旬	甘楽富岡地区	甘楽富岡地区のオクラが出荷最盛期を迎えました。収穫は9月末頃まで続きます。	西部農業事務所 富岡地域農業課 電話0274-63-6711
甘楽富岡でブロッコリーの定植が始まる	8月上旬～下旬	甘楽富岡地区	甘楽富岡地区では、約25名によりブロッコリーが栽培されています。秋冬での出荷を目指して、8月上旬から定植作業が始まります。	西部農業事務所 富岡地域農業課 電話0274-63-6711
国府果菜苗組合秋苗の出荷始まる	8～9月	高崎市	国府果菜苗組合ではブロッコリー、キャベツ、ハクサイなど、秋苗の出荷が始まります。株が充実し高温、乾燥に強いと定評があります。	J Aはぐくみ 東部営農センター 電話027-371-2235
コギクの出荷が盛ん	8～9月	甘楽町 富岡市	甘楽富岡地区はコギク生産が盛んな地域で、特に甘楽町秋畑地区では傾斜の厳しい畑で多くのコギクを生産しています。盆や彼岸に向けた8～9月が出荷ピークで、首都圏や北海道などへ出荷しています。	西部農業事務所 担い手・園芸課 電話027-321-3600
「なんもくの花」の出荷が盛ん	8～9月	南牧村	宿根草類や花木の切り花生産が盛んな南牧村では、傾斜地の畑で約50品目を栽培し、首都圏を中心に北海道まで出荷しています。 8～9月はキク、セダム、ワレモコウ、クジャクアスターなど「なんもくの花」の主力品目の出荷が最盛期を迎えます。	南牧村役場 振興整備課 産業係 電話0274-87-2011
彩り鮮やかなスプレーマムの出荷最盛期	8～9月	吾妻管内	吾妻地域では、冷涼な気候を活かして栽培された彩り鮮やかなスプレーマムがお盆に向けて出荷最盛期を迎えます。夏場を代表するスプレーマムの産地として京浜市場を中心に約350万本が出荷されています。栽培品種も多種多様で、仏花としてだけでなく、アレンジメントなど様々な用途に使用されています。	J Aあがつま 農産部営農販売課 電話0279-68-2148
リンドウ出荷最盛期	8～9月	高山村	高山村では、村の花「リンドウ」の栽培が盛んに行われます。高山村のリンドウは、防虫ネットを被覆して栽培することで害虫による被害を抑えるとともに、蜂による交配を防ぐことで品質を保っています。こうした取組によって高品質で日持ちが良いと市場から高い評価を受けています。	高山村役場農林課 電話0279-63-2111
「六合の花」出荷最盛期	8～9月	中之条町六合地区	中之条町六合地区では、山野草や宿根草の栽培が盛んに行われており、これらの草花を「六合の花」として市場に出荷しています。8～9月にかけて出荷最盛期を迎え、セダム、フジバカマ、ヒメヒマワリ、シュウメイギク等の多種多様な草花が全国へ届けられます。	J Aあがつま 西部営農経済センター 六合出張所 電話0279-95-3311

項 目	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
夏秋トマト出荷最盛期	8月	吾妻管内	吾妻地域では、昼夜の温度差を活かして栽培されたみずみずしいトマトが出荷されています。生産から出荷まで徹底した品質管理が行われているため、色や形など品質の揃ったトマトが消費者のもとへ届けられています。	J Aあがつま 農産部農産営農課 電話0279-68-2148
露地ナス出荷最盛期	8月	吾妻管内	吾妻地域では、露地ナス生産が盛んに行われています。J Aパッケージセンターが7月1日から稼働し、出荷先に合わせた袋詰めを行っています。今年は気温が高く、定期的な降雨もあり概ね順調に出荷されています。	J Aあがつま 農産部農産営農課 電話0279-68-2148
高山きゅうり出荷最盛期	8～9月	高山村	「高山きゅうり」は高山村の在来種のきゅうりで、重さ300～400グラム、長さ25～30センチメートルにもなり、皮は薄黄緑色に白いかすれた模様が入ったずんぐりとした容姿です。肉厚のみずみずしい果肉とパリとした食感が特徴で、生食だけでなく漬け物や炒め物、煮物など様々な料理に利用されています。道の駅などの直売所で販売されており、令和7年3月には、県内で初めて地域の特産品を知的財産として保護する制度である地理的表示（G I）に登録されました。	高山村役場農林課 電話0279-63-2111
高原野菜の収穫最盛期	8月	長野原町北軽井沢・応桑地区	長野原町の北軽井沢・応桑地区では、標高約1,000メートルの高地で栽培される高原野菜の収穫が最盛期を迎えています。キャベツやスイートコーン、ズッキーニなどが次々と出荷されるなか、周辺の農産物直売所も順次開店します。	J Aあがつま 西部営農経済センター 電話0279-84-6514
キャベツ収穫最盛期	8～10月	嬬恋村	夏秋キャベツの生産量が56年連続日本一を誇る嬬恋村では、年間約20万トンものキャベツが生産されています。生育は順調に進み、現在は出荷の最盛期を迎え、日量2,000トン以上のキャベツが出荷されています。近年では、消費者の皆さまに安心・安全なキャベツを提供するため、残留農薬の自主検査にも取り組んでいます。	J A嬬恋村営農畜産課 電話0279-80-6204
観光ぶどう園オープン	8月下旬～	沼田市 川場村 みなかみ町	利根沼田地域では、ブドウが約30ヘクタール栽培され、昼夜の温度差により着色が良く糖度の高い高品質なブドウが生産されます。8月下旬の沼田市ぶどう組合の開園式を皮切りに、約60戸のぶどう園では直売やブドウ狩りが始まります。	沼田市観光インフォメーション 電話0278-20-1300 J A利根沼田 営農畜産部 電話0278-50-6111
雨よけトマトの出荷最盛期	8～10月	沼田市 みなかみ町 片品村 昭和村 川場村	5月中下旬に植え付けられた雨よけトマトは、7月中旬から本格的な出荷が始まり、8月には最盛期を迎えます。利根沼田地域は標高が高く、夏でも夜温が低いため、品質や食味が良いことから市場評価が高く、首都圏を中心に出荷されています。10月下旬まで、「夏美人」「尾瀬トマト」の名称で出荷されます。	J A利根沼田 営農畜産部 電話0278-50-6111 利根沼田農業事務所 担い手・園芸課 電話0278-23-0338
エダマメの出荷最盛期	8月上旬～	沼田市 みなかみ町 片品村 昭和村 川場村	利根沼田地域では沼田市を中心に周辺各町村でエダマメが栽培されています。当地域の耕地は標高300～700メートルにあり、夏季の昼夜の温度差を生かして高品質なエダマメが生産されています。3月から種をまき、8月に出荷最盛となります。	利根沼田農業事務所 担い手・園芸課 電話0278-23-0338
スプレーギク、コギクの出荷最盛期	8月上旬～中旬	沼田市	利根沼田地域では、沼田市を中心に8戸の農家でギクの栽培が行われ、お盆に向け、スプレーギク、コギクの出荷が最盛期を迎えます。当地域は標高が高いため、花の発色が鮮やかなのが特徴です。主に京浜市場へ出荷されます。	J A利根沼田 指導販売課 電話0278-50-6112 利根沼田農業事務所 担い手・園芸課 電話0278-23-0338
グリーンアナベルの出荷最盛期	8月下旬～9月下旬	片品村 沼田市	利根沼田地域では、片品村を中心に切り花アジサイの栽培が盛んです。アジサイの白花品種「アナベル」は、開花後に日光を遮り、鮮やかな緑色に変化させてから収穫するのが特徴です。主に京浜、関西方面の市場へ向けて出荷されます。	J A利根沼田 片品農産物集配センター 電話0278-58-2000 利根沼田農業事務所 担い手・園芸課 電話0278-23-0338
片品村のとうもろこし街道	8月上旬～10月中旬	片品村	片品村下小川地区から丸沼方面に向かう国道120号沿いには、約5キロメートルの間に焼きとうもろこしを中心とした直売所が15軒ほど並びます。通称「とうもろこし街道」と呼ばれ、8月上旬から最盛期となります。	片品村観光協会 電話0278-58-3222

項 目	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
抑制キュウリ 定植最盛期	8月上旬～下旬	桐生市 みどり市	抑制キュウリの定植が8月に最盛期を迎えます。桐生市、みどり市の抑制キュウリ生産者は約60戸で、収穫は9月上旬から11月下旬まで続きます。	東部農業事務所 桐生地域農業課 電話0277-76-2047
桐生・みどり 地域酒米ほ場 現地巡回	8月下旬	酒米栽培ほ場	桐生・みどり地域では、耕作放棄地の発生防止の取組として酒米生産を推進しています。作付面積は取組初年度から年々増加しており、酒米栽培の取組が順調に拡大しています。今後、生産から出荷までを円滑に行い、産地づくりを進めるため、栽培状況の確認および生産者や関係者の情報交換の場として現地巡回を開催します。	東部農業事務所 桐生地域農業課 電話0277-76-2047
ナシの収穫始 まる	8月上旬～	明和町	主要品種の幸水の収穫が始まります。明和町のナシは、ほとんどが直売所及び宅配で販売されています。	東部農業事務所 担い手・園芸課 電話0276-31-2212
ブドウの収穫 始まる	8月上中旬～	桐生市 みどり市 太田市	桐生市、みどり市、太田市のブドウ園で、ブドウの収穫、直売が始まります。人気のあるシャインマスカットや、藤稔、クイーンニーナ、BKシードレスなどさまざまな種類のブドウが楽しめます。	東部農業事務所 担い手・園芸課 電話0276-31-2212
早場米収穫始 まる	8月下旬	板倉町	邑楽郡板倉町は早場米コシヒカリの産地です。県内でもトップクラスに早い、8月下旬から収穫が始まります。	東部農業事務所 館林地域農業課 電話0276-74-2257

●地域のイベント・研修会・品評会等

行 事 名	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
第2回EC活用講座	8月5日 (水) 19時～20時30分	オンライン	販売拡大に取り組む生産者の皆様を支援するため、研修会を開催します。登録したままになっている方も、売り上げをさらにアップさせたい方も、お気軽に研修会にご参加ください。 事業者：株式会社雨風太陽 テーマ：「品目別の売り方～旬×組み合わせで単価を上げる」	ぐんまブランド推進課 販売戦略係 電話027-226-3129
令和8年度ぐんまグローバルファーマー育成塾（第2回）	8月21日 (金) 13時～16時30分	昭和庁舎 21会議室	世界を相手に戦える農業経営者等を育成するため、マーケティングや輸出向け生産について、実践的な知識や技術を習得する塾を開講しています。 今回は、先月入塾した15名の生産者を対象に、第2回目となるセミナーを開催し、次の内容を予定しています。 ① 輸出にも対応した販売戦略 ② 輸出に向けて解決すべき課題	ぐんまブランド推進課 輸出促進係 電話027-898-3642
令和8年度男女共同参画講演会	8月4日 (火)	渋川合同庁舎	群馬県農業・農村女性活躍表彰を受賞された渋川市赤城町の角田佐知子さんより、「男女がともに担う養豚経営 私の歩んだ道」と題し、これまで行ってきた農村社会での活動やこれからの展望についてお話しいただきます。	中部農業事務所 渋川地域農業課 電話0279-23-1321
新規就農者の集い	9月3日 (木)	渋川合同庁舎	新規就農者及び青年農業者が先進的農業者等から経営に対する考え、技術等を学び将来の農業経営の参考とするとともに、青年農業者同士のネットワークづくりのために開催します。	中部農業事務所 渋川地域農業課 電話0279-23-1321
第23回はるなのプラム「太陽」品評会	8月18日 (火)	高崎市榛名支所2階会議室	高崎市榛名地区特産のプラム「太陽」の品評会が開催されます。 果実が大きく甘味と酸味のバランスのとれた「太陽」は、大変人気があります。当日は即売会も行われます。	J Aはぐくみ 西部営農センター 電話027-374-0256
西部地区こんにやく立毛共進会	8月21日 (金)	富岡市南牧村 甘楽町 安中市ほか	高品質のコンニャク生産を目的に、生産組織役員やJ A・市町村・県担当者などがコンニャクのほ場を審査します。上位入賞したほ場は地区代表として県こんにやく立毛共進会に出品されます。	西部農業事務所 富岡地域農業課 電話(0274)63-6711
小平の里夏祭り	7月18日 (土)・25日 (土)、8月 8日(土)・ 22日(土)	小平の里鍾乳洞公園 (8月22日は小平の 里親水公園)	7月18日・25日、8月8日・22日 会場：小平鍾乳洞公園（8月22日のみ親水公園） ・フード：ビアガーデン ・水鉄砲合戦・マスのつかみ取り（8月22日）	小平の里 電話0277-73-2006 公式SNS @odaira_no_sato
第62回桐生市ぶどう展示会	8月26日 (水)	美喜仁桐生文化会館 第一会議室	ぶどう農家の栽培技術向上と、桐生地域で生産されたぶどうを広く市民に紹介するため、品評会および即売会を行います。	桐生市役所農林振興課 電話0277-46-1111 (内線1617) 新田みどり農業協同組合 電話0277-30-8900

行 事 名	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
キュウリ栽培 新規就農希望 者向け現地説 明会	9月26日 (土)	J A 邑楽館林ほか	邑楽館林地域は全国有数の大規模なキュウリの産地です。この産地を今後維持発展させていくために農業の担い手を確保・育成することが重要です。 J A、市町、県等で組織する「邑楽館林施設園芸等担い手受入協議会」では、邑楽館林地域に居住し就農できる方を対象に現地説明会を開催します。 ・募集要件：邑楽館林地域に居住し就農できる方 ・募集人数：若干名 ・開催日時：令和8年9月26日（土）午後 (応募締切：9月18日（金）)	邑楽館林施設園芸等担い手 受入協議会事務局 (邑楽館林農業協同組合 営農指導課内) 電話0276-73-4991

●県域イベント等

イベント等	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
県なし品評会	8月20日（木） 午前10時～午後3時	県庁1階県民ホール北側（前橋市大手町）	県内で生産されたなし秀作品の展示・販売、生産者による直売が行われます。 生産者による直売：午前10時から商品終了まで 展示品の一般公開：正午から午後3時まで 展示品の販売：午後3時から販売品終了まで（午後2時30分に抽選券を配布し、入場順の抽選を実施） 生産者による直売、展示品の販売は数に限りがありますのでご注意ください。	蚕糸特産課 果樹係 電話027-226-3136

日本絹の里

イベント等	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
「学ぼうカイコ～上毛かるたで学ぶカイコの世界～」	日程：7月18日（土）～9月6日（日） 時間：午前9時30分～午後5時 休館日：火曜日、7月13日（月）～17日（金）、9月7日（月）～16日（水）	県立日本絹の里（高崎市金古町）	概要：養蚕農家で使用されている蚕具や、養蚕風景の写真を展示するとともに、群馬オリジナル蚕品種「ぐんま200」のカイコを館内で大量飼育するほか、珍しい模様のカイコや天蚕を生態展示します。また、「上毛かるた」になぞらえ、群馬県に伝わる絹文化や養蚕の歴史について紹介し、分かりやすくカイコのふしぎを学んでいただきます。会期中には「桑くれ体験」や「解説員による解説会」、小中学生を対象とした「カイコクイズ」を毎日開催するほか、繭や絹を使った体験イベントも多数開催します。 費用（観覧料）：一般＝200円、大学・高校生＝100円、中学生以下＝無料 ※障害者手帳などをお持ちの方とその介護者（1人）は無料です。証明できるものをお持ちください。	県立日本絹の里 電話027-360-6300

林牧場群馬県馬事公苑

イベント等	日 時	場 所	内 容	主催・問い合わせ先
体験乗馬教室 4回コース 8月生の募集	8月1日（土）～9月30日（水）の希望する4回 ※火曜日（祝日の場合は次の平日）を除く 午前9時、10時15分、11時30分、午後2時、3時15分 （土日祝のみ午後4時30分あり）	林牧場群馬県馬事公苑（前橋市富士見町）	概要：1回当たり45分間の乗馬 対象：当苑を初めて利用する、小学3年生から70歳までの乗馬初心者 定員：20人（先着順） 費用：一般＝18,000円、高校生以下＝14,000円（受講料、保険料など） 申込期間：7月1日（水）～8月15日（土） ※火曜日（祝日の場合は次の平日）を除く 申し込み方法：電話予約後、所定の申込用紙を提出	林牧場群馬県馬事公苑 電話027-288-7002

